

川建発第 405 号
平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長 様

川越町長 山田



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記のことについて、貴発国道企第 37 号（平成 20 年 9 月 19 日付）で依頼がありましたので別紙の通り回答します。

○今後の道路行政についての意見・提案

1. 国道の歩道等維持管理について

道路関係の予算は毎年減少の一途をたどっている。この為に論議は道路整備の進捗とその財源に集中しがちであるが、最近の施策は整備に比例し維持管理費が増大することを忘れているように思えるところが多々ある。地域住民が真に要望するのは道路の利便性を求めるばかりでなく、生活に密着する環境問題に関することが非常に多い。騒音振動は言うに及ばず、例えば道路照明灯、自動車交通の安全を中心に設置基準にしているが、歩道などを利用する弱者にもっと視点を向けてほしい。通勤通学または買い物など生活と密着する歩道の照明灯は犯罪抑止においても非常に有効である。又、除草も然り、伸びるつる草などが顔をたたき自転車に巻きつき非常に通行しづらいと毎年のように聞く。国道の歩道とはいえ生活者の視点に立った整備、維持管理は是非して頂きたい。

2. 高速道路等の有効利用について

災害時の道路の有効利用について、本町に限らず通称0メートル地帯など低地の多い地域では比較的標高の高い高速道路などは水害時等において有効な避難場所となります。特に最近、東海地域の低地帯におけるスーパー伊勢湾台風を想定した被害対応の検討協議（東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会）ではほとんどの地域がかなりの高さで浸水するとされています。また、大地震時の津波、頻発するゲリラ豪雨等々地球温暖化がもたらす災害は我々の想定をはるかに上回ります。是非御検討いただきたい。

○地域の現状と抱える課題

現状

本町は町域871ヘクタールの狭小な中に国道1号、国道23号、北勢バイパス、新名神高速道路が輻輳する交通の結節点である。この中でも1号、23号を補完する北勢バイパスの役割は非常に重要である。しかしこの道路は平成15年3月に朝日町までの3.59kmを供用開始したにすぎない。

課題

重要道路にもかかわらず建設の進展が非常に遅い、三重県北勢地域の投資効果を考えるならもっとこの道路に集中投資しても良いのではないか。今の時点ではまったく投資効果が出ていない、早期に国道1号（四日市市采女町）交差までの供用開始を望む。